

MORIOKA YMCA NEWS

盛岡YMCAの使命

私たち、盛岡YMCAは、イエス・キリストによって示された生き方に学びつつ、豊かな自然と歴史的伝統に満ちた岩手の地で、こども、家族、地域とともに公正で平和な世界の実現を目指します。

1. こどもたちの個性を大切にし、それぞれの夢や希望、生きる力を育みます。
2. 家族の絆といのちの大切さを深め合います。
3. 共に生きるために、異なった文化、多様な価値観と出会う場を提供します。

7月号 「いのち」について考える



編集発行人：濱塚有史 発行所：特定非営利活動法人 盛岡YMCA 岩手県盛岡市本町通3-1-1
TEL 019(623)1575 e-mail: morioka@ymcajapan.org URL: <http://www.ymcajapan.org/morioka/>

果敢に架ける夢の橋

もりおかワイズメンズクラブ 会長
長岡正彦（盛岡YMCA 常議員）

盛岡YMCAの子どもたち元気ですか～。リーダーたち元気ですか～。君たちの元気な声が聞こえてきますよ～。YMCAの子どもたちとリーダーの元気が、おじさん、おばさん軍団、盛岡ワイズメンズクラブの元気の源です。

君たちが楽しく元気に活動できる事を願って、ワイズメンズクラブは日々活動を続けているのです。いいぞ～盛岡YMCA、がんばれ盛岡YMCA、君たちの行動のひとつひとつが盛岡の子どもたちの明るい未来を築いているんだ、今はまだ小さくて、YMCAの活動に参加できないちびっこたちも、あと何年かすると入ってくるよ。未来は明るい、その明るい未来を今築いているのが君たちなんだよ、土台をもっとしっかりした物にして、「盛岡にYMCAあり」「子どもは盛岡YMCA」という評判が出来上がることを願っているよ。

もりおかワイズメンズクラブは発足してまだ4年目ですが、設立の理念の一つは「盛岡YMCA」の支援であることは言うまでもありません。経済的な支援は今一つですが、活動のサポートとしてできる支援を惜しむものではありません、一緒に活動して、一緒に楽しんで、その結果子どもたちが「盛岡YMCAは楽しいな。」と感

じてくれればいいなと心から思います。

盛岡YMCAにお子さんを預けている親御さん方、とても良い団体とお付き合いしていると思います。職員、ボランティアリーダー、共に楽しむ活動を通して子どもたちの健全な成長を促しています。スポーツの楽しさ、厳しさ、英語や水泳、学童保育の充実した時間、どれをとっても子どもたちの健やかな成長を後押しする活動が全てです。学習塾では味わえない、青少年の活動サークルとでも言えるでしょう。安心して預けて下さい、盛岡YMCAは期待を裏切りません。いえ、期待以上の成果を子どもたちにフィードバックしていきます。

最後に盛岡ワイズメンズクラブは今後も盛岡YMCAの支援団体として活動してまいります。お子さんが中学を卒業してYMCAの活動から卒業したのち、親御さんがたはどうぞワイズメンズクラブにご入会下さい、盛岡YMCAを支援する活動にぜひご参加ください。盛岡YMCAの益々の発展を期待しております。

※ワイズメンズクラブは、「YMCA」の活動を支援することを第一の目的として地域・と国際社会に奉仕する国際的なボランティア団体。世界122カ国に約3万人の会員を有し、日本においては151クラブ約2,800人の会員がいます。



いのちについて考える

こんにちは、盛岡YMCAのボランティアリーダーのビーチとスカイです。YMCAは、非営利団体であり、その掲げる使命の達成のために、様々な方々が集っています。盛岡YMCAの使命の一節に「家族の絆といのちの大切さを深め合います。」とあります。

今回の特集は「いのちについて考える」。盛岡YMCAの維持会員であり、YMCAのサッカースクールに通っていたメンバーのお父さんであり、日頃産婦人科医として「いのち」に向き合っておられる岩手医科大学 准教授の吉崎陽（よしざきあきら）先生にインタビューして来ました。いじめや、虐待、自殺、殺人事件など「いのち」が粗末にあつかわれつつある昨今の社会の風潮の中で、「いのち」の重みについて今一度考える機会になればと思います。



今回この特集を組むにあたり、岩手医科大学医学部産婦人科にお勤めの
よしざきあきら
准教授である吉崎陽先生にお話を伺いました。

インタビューは、7月15日にアイーナで行いました。インタビューをしてきたのは、私たち2人です。



岩手県立大学
社会福祉学部 4年
辻田優芳 (スカイ)

岩手県立大学
社会福祉学部 4年
佐藤愛美 (ビーチ)

人は「いのち」のことを考えるために生きている。

スカイさんやビーチさんは、普段「いのち」について考えることはありますか？僕は、人は「いのち」について考えるために生きているんだと思います。

子どもの頃、戦争を体験した家族がその時の様子を話してくれたこと、「いのち」を真剣に考える人に出会ったことで、今の子どもたちに比べ生きることについて考える機会が多かったと思います。その中でも小学校3年生の時、教育実習生の先生の言葉は、僕にとって印象的でした。その先生は、給食の前にお祈りをするんです。「なぜお祈りをするの？」と尋ねたところ、「どうして生きているのか、何のために自分は存在しているのかを考えているからだよ。」という答えが返ってきました。

この「自分の存在」という言葉を聞いて子ども心に急に「自分の存在」が分からず、不安になったことを覚えています。それからいろいろ考えるうちに中学生になってこう考えるようになりました。「人は「いのち」について考えるために生きているんだ。」この考えは今も変わってはいません。



7月のサンデースクールは「びゅんびゅん水でっぽうを作ろう」です。メンバーは16人の子供たちと6人のリーダーの合計22人です。

7月サンデースクールの日である7月3日は、快晴なうえに気温も高く絶好の水鉄砲日和でした♪14時を過ぎると内丸教会に続々と子ども達が集まってきました。メンバーが全員集まると水鉄砲づくりの開始です。

水鉄砲はペットボトルのふたに穴をあけてストローを2本さして片方から吹くと水が出る「ビュービュー水鉄砲」、ペットボトルの底を切り取ってスポンジと布を巻いた棒を押しこむと水が押し出される「ギュッとおしてドン水鉄砲」、穴をあけたホースの両端をふさいで曲げると水が出る「ギュギュッと水鉄砲」の3種類です。自分が作りた

いと思うものを選んで作り始めました。ペンで色をつけて自分だけの水鉄砲を作ったり、1種類だけでなくたくさんの水鉄砲を作ったり、試し打ちをしてうまく水が出なかったら改良したりと色々な水鉄砲が出来上がりました。

水鉄砲が完成した人から外で水鉄砲戦争の始まりです。自分で作った自慢の水鉄砲に水を入れて打ち合います。水を掛け合ったり、みんなで協力してリーダーをびしょ濡れにしたり、最後には水鉄砲だけでなくペットボトルに水を汲んで掛け合ったりして、暑い熱い戦いが繰り広げられました。またみんなで大くさん遊びたい！と思ったので、遊びに来てくれるのを楽しみにしています！！



ホタテリーダー 高橋里帆 (岩手大学農学部3年)

いのちの価値

ちょっと統計的な話をしましょう。今の日本の合計特殊出生率は、1.37です。つまり一人の女性が一生の間に産む子どもの数は1.37人です。一方で妊娠したうちの5回に1回は流産し、さらに中絶される赤ちゃんは、日本だけで25万人いると言われていています。こうしたことから考えると妊娠したうちの3人に一人はこの世に生れてこないこととなります。こういった数字からもこの世の誕生した「いのち」がどれだけ貴重なものなのか頭で想像することができます。

誕生した「いのち」、永らえなければならぬ「いのち」、消えゆく「いのち」がある中で「いのち」の価値は、みな同じものであってほしいのですが、残念ながらそうとは言えないのが現実の社会です。例えば戦争で将棋の駒のように扱われる兵士の「いのち」と攻め込まれて殺される国民の「いのち」は、どのように比べればいいのでしょうか？ 長年赤ちゃんの誕生を願っていた親と望まない妊娠をしてしまった親とでは「いのち」に対する考え方はどうなのでしょう？ 私たちの周囲には様々な立場、状況に置かれている人がいて、その「いのち」に対する考え方は人それぞれなので「いのち」の価値は一つには決められません。このように「いのち」の価値は、ひとつの見方では決められない、いろいろな見方から考えないといけないことに私たちは気付かされます。

また、医学は目覚ましい勢いで進歩しています。特に遺伝子の分野での進歩は著しいものがあります。遺伝子を操作することによって髪の色から肌の色、目の色、健康状態や知能、寿命、さらには性格まで決めることは、医学的に可能になってきています。あと10年もしたら、コンビニエンスストアで端末を操作しながら子どもを予約し、希望通りの子どもが届けられると言ったSF的なことがおこることも絶対にないとは、言い切れません。そういった未来が迫ってきている中で「いのち」の価値を私たち一人一人が考えてみる必要があります。

自分の考えを持つ

お産は、お母さんにとっても赤ちゃんにとっても100パーセント安全ではありません。中には難産など大変な場合があるので無事に赤ちゃんの頭が見えると、立ち会っている医師や助産師は安心します。赤ちゃんを安全に取り上げるまでが僕たちの仕事です。そのあと、赤ちゃんを育てるのは親の仕事なのです。責任を持ってこの子を育ててほしいなと思います。これからの日本にとって、子供を育てる人、親の自覚を教育することが大切だと思います。まずは一人一人が親になることとはどういうことか、「いのち」とは何かについて自分の考えを持つ必要があります。子どもには無限の可能性があります。人として守らなければならない社会のルールは厳しく教える必要はありませんが、それ以外の縛りはなるべくせずに、その可能性を伸ばして欲しいです。

～インタビューを終えて～

今回、吉崎先生からお話をお聞きして自分や家族、周りの大切な人たちの「いのち」を大切にしなければならぬと改めて思いました。そして、「いのち」の大切さを盛岡YMCAで出会った子どもたちにも伝えていこうと思います。（スカイ）

今回の吉崎先生のお話を聞き、「いのち」について、親になるということについて考えさせられました。来年度社会人となる私にとってはとても良い機会でした。この記事を読んだ人にも、少し考えるきっかけになってもらえればと思います。（ビーチ）



アドベンチャークラブ6月活動 「火を熾す」



6月26日、27日に6月アドベンチャー「火をおこす」が県民の森で行われました。当日は子ども30名、リーダー13名が参加しました。初めて参加してくれた子どもも多く、アイーナに集合した時はいつもより大人数でにぎやかに感じました。

この日は天気もよく、キャンプ場で昼食をとったら、午後からは川でフリータイム。川の中の生き物を探したり、水を掛け合ったりとみんな大はしゃぎ。キャンプ場に戻ってきてからも虫取りや追いかっこなど、それぞれ思い思いの遊びをして楽しんでいました。

夕方になり、辺りも暗くなってきたころ、いよいよお楽しみのナイトプログラムです。今回はキャンプファイヤーを囲んで「もうじゅうがり」をして仲間を見つかったり、「アブラハム」を踊ったりと大盛り上がり

りでした。また、夜の暗闇の中で見えるキャンプファイヤーはとてもきれいで夏のキャンプならではの光景も楽しむことができました。

2日目の午前には今回のメインイベント「火おこし」をしました。まきを使って火をおこすにはコツが必要で、薪の組み立て方や、長時間燃やし続けることなどけっこう難しいんです。ほとんどの子が初めてで、悪戦苦闘しながらも、リーダーからアドバイスをもらい、グループのみんなど相談しながらチャレンジしていました。そうして苦労して自分たちで炊いたお米は格別においしかったと思います。

私は今回初めて裏としてみんなのご飯を作ったのですが、そこでも初めての体験・発見がありました。まず、なべで50合ものお米を炊いたことは初めてでしたし、火力や水加減が難しく、なかなかうまくいきませんでした。他には、早起きした子供たちと一緒に朝食の準備をするなど、裏ならではの楽しみも体験できました。裏は仕事が多く、慣れていないためにてこずりながらも、終えた後には達成感がありました。子供たちも今回のキャンプではたくさんの初めてがあったと思います。その挑戦する気持ちを大切に、これからもさまざまなことにチャレンジしてほしいです。

いもこリーダー 小野華奈（岩手県立大学看護学部2年）

8月の予定

- ★8月2日(月)～8月6日(金)
サマースクール②
(於 内丸教会)
- ★8月2日(月)～8月6日(金)
小学生・中学生英語夏期講習会
(於 盛岡YMCA)
- ★8月3日(火)～8月6日(金)
サッカーキャンプ
(於岩手県立高田松原野外活動センター)

- ★8月8日(日)～8月11日(水)
海の生活体験キャンプ
(宮城県国民休暇村気仙沼大島キャンプ場)
- ★8月8日(日)～8月10日(火)
秋田の分校に泊まる 2010夏
(秋田県仙北市「恵い出の湯分校」)
- ★8月9日(月)～8月11日(水)
山のキャンプ
(盛岡市外山森林公園キャンプ場)
- ★8月12日(木)～8月15日(日)
休館
- ★8月16日(月)

- 小学生低学年英会話2期開始
- ★8月18日(水)
水泳教室 水曜コース2期開始
- ★8月19日(木)
松園サッカースクール2期開始
- 中学準備英語 木曜コース2期開始
- ★8月20日(金)
篠木サッカースクール2期開始
- ★8月21日(土)
本町サッカースクール2期開始
- もりおがワイズメンズクラブ

- 納涼例会
- ★8月23日(月)
土淵サッカースクール2期開始
- 中学準備英語 月曜コース2期開始
- 中3長文読解英語 2期開始
- ★8月24日(火)
水泳教室 火曜コース2期開始
- 盛南サッカースクール2期開始
- ★8月29日(日)
アドベンチャークラブ8月活動
「川を登る！」

★ 維持会員 ★

盛岡YMCAは、1983年から活動を始め世界を見つめながら盛岡の地域に根ざした活動を多くの方々から支えられながら続けて来ました。維持会員とは、盛岡YMCAの使命に賛同し盛岡YMCAの活動を支えるため、維持会費を払って会員となった方々です。

盛岡YMCAの維持会員としてYMCAの諸活動をお支え下さい。申し込み方法は、YMCAにお問い合わせ下さい。

- 熊谷太、水田賢次、長谷川精一、伊藤克見、伊藤喜代江、布川雅樹、布川直子、神永暁、及川茂夫、及川惠、川守田浩、工藤直子、清水弘一、吉崎陽、今松桂子、杉下一郎、井上修三、阿部靖、今野聖子、中原真澄

● 寄付金 ●

- 菊池崇江、熊谷太、鶴丹谷三千代、水田賢次、新里ちえ子、金田一世、美子、重石桂司、大関靖二、長谷川精一、北田アユ子、田村治之、伊藤克見、伊藤喜代江、濱塚秋二、濱塚れい子、布川雅樹、布川直子、神永暁、小畑孝子、松尾聡子、及川茂夫、及川惠、川守田浩、晴山真理子、工藤直子、竹内一真、清水弘一、吉崎陽、千葉代子、今松桂子、金野東輝子、井上修三、井上優子、井上浩太郎、阿部靖、今野聖子、今野健男、金田節子、中原真澄、古澤伸

感謝

2010年度
順不同・敬称略

● 維持会員 ●

ファミリーサッカーフェスティバル



7月11日(日)にファミリーサッカーフェスティバルが開催されました。天候に恵まれ、北松園小学校では多くの子どもたちが元気にサッカーボールを追いかけました。雪がなくなり、土のグラウンドで行われる今年一発目のサッカー大会、朝に子どもたちが集まり、朝からとても元気でファミリーサッカーフェスティバルが待ち遠しくて仕方がなかった様子でした。おかわりリーダーの開会宣言で盛り上がり、学年ごとにコートに散らばって試合が始まりました。試合が始まると子どもたちは広いコートに思う存分に元気走り回っていました。一試合目よりも二試合目、二試合目よりも三試合目とチームの雰囲気、子どもたちの表情が良くなっていきました。また、同じチームのメンバーとサッカーをする楽しさ、お父さんお母さんリーダーとサッカーをする楽しさを一人一人感じていました。各コート、各チームごとにそれぞれカラーがあり、そのカラーがすべて集まり、ファミリーサッカーフェスティバルが盛り上がり、ファミリーサッカーフェスティバルを通して「サッカーは本当に楽しいものだ。」と感じて、これからも楽しいということを感じながらいろいろなことにチャレンジして行ってほしいと思います。



盛岡大学 児童教育学科3年 前田 裕太 (ズン)

短期集中連載

社会人になった シロクマリーダーの栄養教室③

家村知佳



最近の暑さにやられているシロクマです。この気温や湿度の高い7～10月は食中毒に注意しなければならない時期です。食中毒は①微生物性、②自然毒、③化学性、④その他に分類されますが、発生件数の90%を占めているのが微生物性食中毒です。さらに、微生物性食中毒は細菌性とウイルス性に区別され、ウイルス性の方が一度に多数の患者

が発生する危険があります。そのウイルス性食中毒の代表がノロウイルスです。また、発生件数が多い原因細菌にはカンピロバクター、サルモネラ属菌、腸炎ビブリオなどがあります。

これらの食中毒を防ぐために3つのポイントがあります。

- ①菌をつけない 調理前や食事前の手洗いのほか、生の肉や魚、卵を触った後の手洗いも行いましょう。また、生鮮食品を購入するときは新鮮なもの!!
- ②菌を増やさない 食材は10℃以下で保存しましょう。しかし、低温にしたからといって菌が死ぬわけではありません。増殖を遅れさせるだけなので冷蔵庫を過信しないように気をつけましょう。
- ③菌を殺す 調理時や再加熱をするときは十分に加熱しましょう。ノロウイルス対策のためには85℃以上で1分以上の加熱が必要です。

食中毒で苦しむよりはしっかり対処していった方がいいですね! 楽しい夏休みを過ごしましょう!

～表紙の写真から～



7月11日、世界は、オランダ対スペインのワールドカップ決勝に関心が集まっていた日。北松園小学校で盛

岡YMCAのファミリーサッカー大会が開催された。写真は、PK戦にもつれ込んだ高学年のグループ。さてゴールは決まったのでしょうか? みんなの表情を見て想像して下さい。

盛岡YMCAのサッカー大会は、家族で参加できる数少ないYMCAのプログラムです。お父さん、お母さん、子どもたちと一緒に汗を流してみませんか? サッカースクールの会員でなくとも、誰でも参加が可能です。次回、秋の大会は、11月7日を予定しています。(濱)